

交流ネットワーク総合整備事業「高木・高向地区」の概要

■事業の目的

本地区は河内長野市内の主要な農業地域であるとともに、花の文化園などの施設とも隣接しており、都市住民の農への関心や直売所等へのニーズの高まりからも、交流型農業の展開が期待されていました。

一方、農地は狭く不整形な上に、農道・水路等は未整備で、農業者の高齢化が進む中で、営農しやすい環境を整える必要がありました。また、高向集落内を通る府道河内長野かつらぎ線は幅員が狭く、児童の通学や住民の通行の安全確保が望まれていました。

本事業はこうした課題を解消し、交流型の新しい農業を推進するため、大阪府が平成14年3月に農林水産省の国庫補助事業としての採択を受け、農地や農道・水路の整備を行うほ場整備と、ほ場整備事業の換地により、地権者から提供していただいた道路用地に集落道（宮の下農道）の整備を実施したものです。

■事業概要

○事業主体：大阪府

○事業内容：（地区面積11.2ha）

- ・高木地区（地区面積6.6ha）： 整地工4.4ha 道路工1,039m 水路工1,452m 排水路工254m
- ・高向地区（地区面積4.6ha）： 整地工2.5ha 道路工813m 水路工1,780m 排水路工236m
- ・集落道整備（宮の下農道）： 総延長967m（幅員 車道6.5m 歩道2.0m）
橋梁2橋（高向橋 L=32m、日野大橋 L=83m）

○総事業費：14.4億円（内訳）ほ場整備3.6億円 集落道整備（宮の下農道）10.8億円

○負担区分：ほ場整備 国50% 府15% 市25%（高木30%） 受益者10%（高木5%）
集落道（宮の下農道） 国50% 府15% 市35%

○工期：平成14年度～平成25年度

○集落道（宮の下農道）管理者：河内長野市

■事業の沿革

平成14年3月 農林水産省国庫補助事業として採択以降、府営事業として河内長野市と連携し事業実施

平成14年度 測量・設計に着手

平成16年度 集落道（宮の下農道）の工事着手

平成19年度 高向地区のほ場整備工事に着手

平成22年度 高向地区権利者会議（9月2日）
高向地区の換地処分

高木地区のほ場整備工事に着手

平成25年度 高木地区権利者会議（10月19日）
高木地区の換地処分

高木高向地区事業完了

平成26年度 集落道（宮の下農道）が開通



★地域活性・交流拠点施設（愛称：奥河内くらまろの郷）

平成26年秋オープン予定の地域活性・交流拠点施設は、高向エリアを「奥河内の玄関口」として位置づけ、河内長野市の魅力を発信する新たな交流拠点として河内長野市が建設を進めています。この施設には、ビジターセンターをはじめ、JA大阪南の農産物直売所、地産地消レストランが整備される予定です。

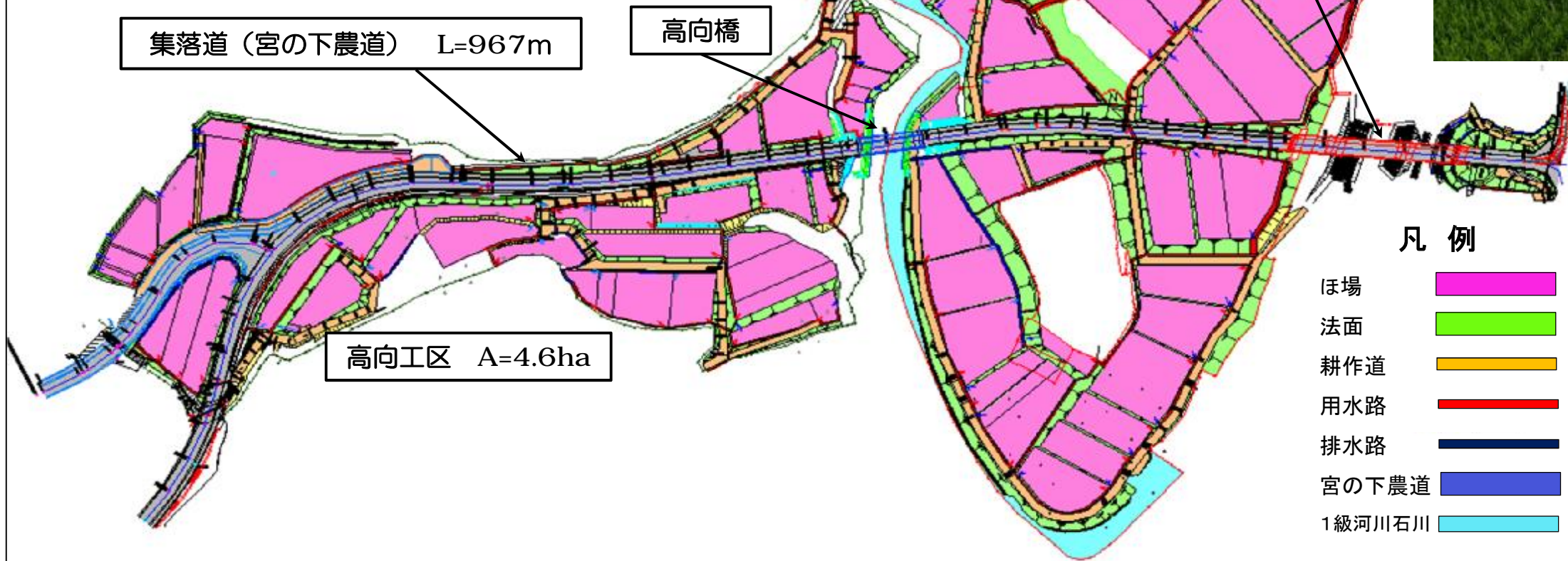
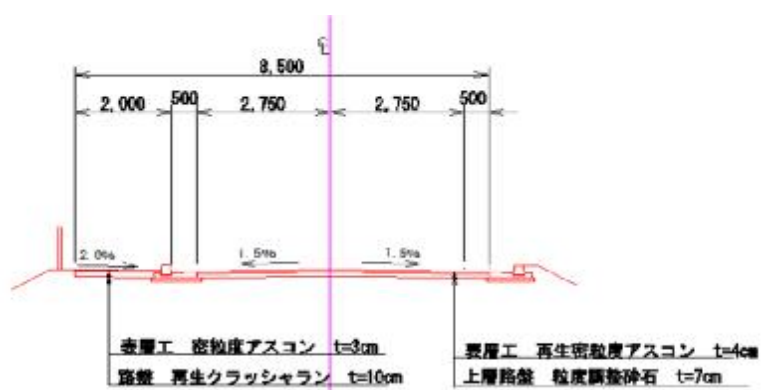
この施設の完成により、地元農家の営農意欲の向上や交流型農業の推進など、高木・高向地区の整備との相乗効果でさらなる地域の活性化が期待されます。



奥河内
くらまろの郷
Okunakama Village

高木・高向地区 ほ場整備平面図

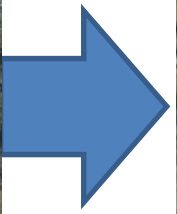
集落道（宮の下農道） 標準断面図



整然と整備された農地と集落道（宮の下農道）



高向橋 L=32m



日野大橋

画像©2014 Digital Earth Technology, DigitalGlobe, 地図データ©2014 google, ZENRIN